

# 巻 頭 言



常務取締役  
技術研究所長 藤井 徹也

昨今のコンピュータ、通信を中心とした情報関連技術の進歩は著しく、1年半ごとにその能力が倍増すると言われていています。鉄鋼業界はその恩恵を最も享受した産業と言っても過言ではなく、コンピュータをオーダー受注、生産・品質管理、出荷などの情報管理システムとして用いるとともに、その本来の意味するところ（computer：計算機）の数値計算分野でもプロセス設計やシミュレーションに活用してまいりました。

コンピュータを利用した数値解析は 1950 年代の有限要素法の開発によりその威力を発揮し

参考に供するとともに、ご批判・ご教示を仰ぐべくとりまとめました。今後ますますのご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。